



アメリカシロヒトリの防除について

～ 巣虫防除を徹底しよう！ ～



■アメリカシロヒトリ（通称：アメシロ）とは

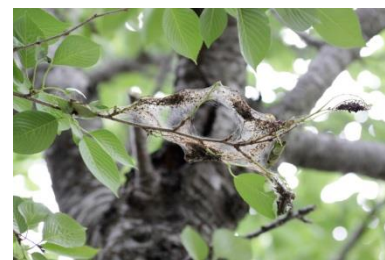
成虫は長さ約 1cm で全体に白っぽい色をしています。幼虫は長さ約 3cm で、各節の背面と側面に小さなコブがあり、そこから白く長い毛が生えています。



アメシロの幼虫

■生態

卵は葉裏に数百粒の固まりで産み、ふ化した幼虫は吐いた糸で薄網状の巣を作り、その中で群生して食害します。この時期は葉肉だけを食べるので被害葉は白くかすり状になります。その後、分散し単独で葉を食べるようになりますが、この時期には葉脈も食べるので、被害樹は丸坊主になることもあります。



分散前のアメシロの巣

気象条件等にもよりますが、通常、6月上旬～7月中旬（1化期）と8月上旬～9月中旬（2化期）の年2回発生します。

■発生時期と防除方法

○発生時期と生活サイクル

通常、6月上旬～7月中旬（1化期） 8月上旬～9月中旬（2化期）の年2回発生します。

※気象条件等により発生時期がずれることがあります。

6月		7月		8月		9月				
1化期				2化期						
一日頃	十三日頃	十四日頃	三十日頃	四日頃	十五日頃	二十日頃	十二日頃	十三日頃	二十七日頃	二日頃
産卵	巣に群生 一～二齢幼虫	分散する	三～七齢幼虫	蛹化	羽化	産卵	巣に群生 一～二齢幼虫	分散する	三～七齢幼虫	蛹化（越冬）
巣虫防除期		薬剤防除期		巣虫防除期		薬剤防除期				

○防除方法

薄網状の巣で群生する時期に行う「**巣虫防除**」と、巣から出て分散してしまった後に行う「**薬剤防除**」があります。「**巣虫防除**」が最も効果的で、人と環境にやさしい方法ですので、庭先などを見回り、徹底した自主防除を行いましょ。防除が遅れると、分散し周辺の樹木が被害を受けますので、早期発見に努めましょ。

○「**巣虫防除**」方法

枝切りバサミなどで巣虫ごと枝を切り落とし、幼虫を踏み潰しましょ。または、燃やすごみ袋に入れ、幼虫が這い出ないように口をきっちり閉め、燃やすごみとして出して下さい。

○「**薬剤防除**」方法

巣虫防除が遅れ、既に分散してしまった場合は、以下に注意し、アメリシロが発生している枝葉に集中させ、必要最小限の薬剤散布を行って下さい。

- ・ 薬剤は登録された農薬を使用し、定められた希釈倍率で散布すること。
- ・ 飛散に注意し、人や動物、作物、洗濯物等に付着しないようにすること。

■市内防除業者

防除を実施している業者一覧です。料金等については、直接、防除業者にお尋ねください。

業 者 名	住 所	電話番号
植進造園(有)	稲生 1 丁目 1-8	25-1525
金峰造園土木(有)	上山谷字村尻 63	57-4618
(社)鶴岡市シルバー人材センター	美咲町 26-1	24-4436
(株)日本海消毒 山形営業所	小京田 68	24-5154

※1. 大量に発生した場合には、業者によっては対応できない場合があります。

※2. この一覧は、タウンページの造園業・消毒業に掲載されている業者等から、アメリシロ防除実施及びちらしへの掲載の可否を確認してまとめたものです。

■アメリカシロヒトリ防除相談室（電話：62-5292）

個人向けの「枝切りバサミ」の貸出しはこの窓口にご相談ください。

◆開設期間：令和8年6月8日（月）～9月11日（金） ※ 土日、祝祭日を除く

◆開設時間：9:30～15:30 ◆場所：旧赤川地区浄化センター（鶴岡市羽黒町赤川字村下63-2）

■鶴岡市 環境政策課（電話：35-0160） 市役所6階

アメリカシロヒトリ防除に関する一般的なご質問などは、環境政策課へお問い合わせください。